

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 12月6日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 270900168
法人名	医療法人聖山会
事業所名	グループホーム 合歡の家
所在地	長野県伊那市荒井川北町3835 - 1 (電 話) 0265 - 77 - 2617

評価機関名	福祉総合評価機構 長野県事務所
所在地	長野県飯田市上郷別府3307 - 5
訪問調査日	平成20年11月12日

【情報提供票より】(20年11月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 12 月 20 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての 階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	69,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	960 円	

(4) 利用者の概要(11 月 1 日現在)

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名
要介護1	5 名	要介護2	1 名		
要介護3	1 名	要介護4	2 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 84 歳	最低 78 歳	最高 91 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	伊那神経科病院 たかはし病院 あけぼの歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このグループホームは、法人内の介護老人保健施設「辛夷園」や伊那市の老人憩いの家「西部荘」に隣接し、地域での相互交流に恵まれた場所にある。また、隣接する同法人の伊那神経科病院から定期的な往診をすぐ受けることができることなど、利用者やその家族にとって得がたい安心感がある。

中に入っていくと中央に広い食堂と居間があり、8年目とは思えないほどゆったりして、設備が整っている。そして、管理者を中心とした職員に、センター方式を活用して利用者の様子を十分把握し、サービス向上を図ろうとしている意気込みが感じられ、これからの発展が期待される。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	一昨年度の外部評価で指摘された「運営理念の具体化や明示・啓発」については改善され、5つの基本方針を立て、実践に努めている。また、「身体拘束のない介護や感染症対策」についても改善されていた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で自己評価票をもとに話し合い、利用者の様子をセンター方式で把握し、介護計画や実際の介護に活かすように取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	地域の方によく知ってもらおうと平成20年度から3か月に1回運営推進会議(地域交流会)を開くようにしてきた。利用者の健康や暮らしぶりを報告したり、苦情や要望についての話し合いを行っている。例えば、トイレ付近の夜間照明や朝食のおかずの希望などについて適切に対応してきている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月利用者家族へは「合歡の家だより」でグループホームの状況や個々の様子を報告している。また、家族会(家族交流会)を年2回開いたり、家族の訪問時に話し合ったりして苦情や意見を聞き、問題に応じて法人内の執行部会で対応を話し合っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区の防火訓練に職員が参加したり、地区の文化祭には利用者や職員も参加したりしている。また、幼児や高齢者とは隣接している老人介護保健施設や老人憩いの家・近くの保育園と音楽・踊り・詩吟などを通して交流している。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念	「すこやかな日常生活が続けていけるように援助します」という運営理念のもと、「ゆっくりと話を聞きお年寄りの理解を深めます。一緒に過ごす時間を大切にします。必要な時はすぐに手を差し伸べます。介護計画を立て、職員全員で実行します。日々の関わりを振り返り、改善に努めます。」という5つの基本方針を持ち、独自の理念をつくりあげている。		
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている			
		理念の共有と日々の取り組み	運営理念のもとに「アセスメント プラン モニタリング 実施 再アセスメント」という実践のサイクルを示した基本方針を持ち、センター方式を採用入れて取り組んでいる。		具体的な基本方針が示されているので、パンフレット以外に掲示したりして、職員のみならず利用者や家族に広く知らせたり、さらに職員会などで基本方針のもとに話し合ったりすることが望まれる。
		管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる			
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい	地区の防火訓練に職員が参加したり、地区の文化祭には利用者や職員も参加したりしている。また、幼児や高齢者とは隣接している老人介護保健施設や老人憩いの家・近くの保育園と音楽・踊り・詩吟などを通して交流している。		
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用	昨年度は厚生労働省の調査があり外部調査に取り組むことができなかったが、本年度は職員全員で自己評価票について話し合い、外部評価に取り組んで改善を図っている。		
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
		運営推進会議を活かした取り組み	地域の方によく知ってもらおうと平成20年度に3か月に1回運営推進会議(地域交流会)を開くようになってきた。利用者の健康や暮らしぶりを報告したり、苦情や要望についての話し合いを行っている。トイレ付近の夜間照明や朝食のおかずの希望などについて適切に対応してきている。		
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			

グループホーム 合歡の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	伊那市介護支援専門員連絡会に毎月参加し、また福祉問題懇談会へも参加し、市町村担当者との連携を密にしてサービス向上を目指している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月利用者家族へは「合歡の家だより」でグループホームの状況や個々の様子を報告している。		利用者家族への報告だけではなく、地域の方にグループホームをよく知ってもらおうと新聞発行する予定があるので、実現を期待したい。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会(家族交流会)を年2回開いたり、家族の訪問時に話し合ったりして苦情や意見を聞き、問題に応じて法人内の執行部会で対応を話し合っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	本年度は職員の異動はなかった。異動が生じた場合には確実に引継ぎを行い、新しい職員にベテランの職員が付き添うようにするなどして、利用者へのダメージを防ぐように考えている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県の認知症についての研修を受けるようにしたり、法人内で床ずれやリハビリについての研修を開いたりしている。また、ミーティングの折に報告し合ったり、報告書を提出してたりして成果を広めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	上伊那圏内のグループホーム連絡会に参加し、相互評価を行ってサービス向上に役立てている。今後は、管理者だけでなく職員同士の活動を検討している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者は可能なかぎり家族と一緒に来てもらい、見学してもらったり相談したりして、馴染み、納得して入居してもらうように工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の目線に合わせて話をするように努めている。よくテレビや古い映画の話題が上りようである。先輩として利用者から料理の方法などを教えてもらったりして、一緒に生活している自然な様子がうかがえた。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者本人との話や様子から希望や意向を把握することに努め、センター方式にしたがって記録し、それが活用できるように考えている。</p>		<p>一人ひとりの利用者をセンター方式で把握することは長い時間がかかるが、その良さを活かしていくことが期待される。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者一人ひとりの実態と希望をもとに、関係者とも話し合い、具体的に対応できるような介護計画を作成している。例えば、「体が痒くてつらい実態から、痒みの症状をなくしてほしいという希望をもとに、入浴・リネン・パジャマなどについての対応がきめ細かに作成されていた。</p>		<p>センター方式による実態や希望・意向の把握を活用して、さらに利用者本人に応じた介護計画作成が望まれる。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ミーティングで利用者一人ひとりについての見直しを図り、支援するよう努めている。</p>		<p>まだ家族の意向を確認できていない点や、アセスメントから再アセスメントまでのサイクルが不十分な点があるので、今後期待したい。</p>

グループホーム 合歡の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入浴サービスでは同法人隣接施設の機械浴を利用するなど、柔軟な支援を行っている。さらに、ショートステイを展開して、多機能性を活かした支援を広げようとしている。		
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に利用者本人・家族との話し合いで主治医を決めて、連携して受診支援を行っている。また、法人内の隣接施設・伊那神経科病院から定期的な往診を受け、適切な医療に配慮している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について家族との話し合いを綿密に行い、主治医と連携して対応している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りやプライバシーを大切に言葉かけに配慮し、他の利用者に分からないようにトイレに誘導したりしている。また、個人情報を記録するときには、インシヤルを使ったりしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりに声かけて、食事の献立の希望や外出の予定など、本人のペースに合わせた支援を心がけている。		

グループホーム 合歡の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が大根や生姜をおろしたりして、昼食の厚揚げを職員と一緒に作っていた。最初、訪問に緊張していたが、「信濃の国」を口ずさんだり、昔の運動会の話が弾んだりして、楽しい食事になった。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月曜日から土曜日の午後の入浴時間に、利用者が2回から3回入浴できるように支援している。車椅子の利用者が手際よく入浴できるように職員が付き添い、安全に十分配慮している姿を見ることができた。		入浴方法を工夫したりして、利用者の希望やタイミングに合わせてできるように期待したい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの力を活かし、モップがけや庭掃除、食事の下ごしらえなどができるように支援している。また、隣接施設で毎週行われている音楽教室・詩吟・踊りなどに参加し気晴らしの支援をしている。そして、利用者の誕生日には誕生会を開き、みんなで祝い楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者一人ひとりの心身の状態や希望を聞きながら、散歩したり、買い物に出かけられるようにしている。また、季節や月に合わせてお花見・紅葉がりや苺がり・葡萄がり、そして温泉へと遠くへの外出も計画している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけないで、外に出て行く利用者には職員が付き添うようにしている。なお、これまで身体拘束をせざるを得なかった場面については改善して、なくなってきている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練では、消防署の協力を得て避難経路の確認・避難・消火器の使い方などを行い、地域と連携した取り組みを行っている。		

グループホーム 合歡の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者一人ひとりの状態を把握して、栄養バランスがとれた献立を工夫している。また、水分補給にも配慮している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>建物の中央に食堂・2箇所の居間が大きく広くあり、利用者トイレも4箇所あって居心地よい環境になっている。また、遠出したときの写真や地域の文化祭に出した作品を飾ったり、「信濃の国」の歌詞の大きな掲示があったりして、生活感がある空間になっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の居室には、本人の使い慣れた家具を置いてこれまでの環境に配慮したり、家族や本人の写真や誕生日カードなどを飾って温かい雰囲気づくりをしたりしている。</p>		